

「鹿島グループ サプライチェーン行動ガイドライン」 に関するアンケート調査の結果について

鹿島建設株式会社

目次

1. アンケート調査の概要

2. 結果の概要

3. 皆さまへのお願い

4. お問い合わせ

1. アンケート調査の概要

目的: 「鹿島グループ サプライチェーン行動ガイドライン」が定める各項目の協力会社における対応状況の把握

調査対象: 鹿島事業協同組合連合会組合員 906社
(複数支店への重複登録を除く)

調査期間: 2022年4月15日～2022年5月31日

調査内容: 「ガイドライン」の13項目（コンプライアンス、人権、労働慣行、環境、情報セキュリティ、BCPなど）に加えて、昨今、発注者を含め外部からの問合せが増えている外国人従業員（技能実習生含む）の人権尊重などの状況

回答数: 547社（回答率60.4%）

2. 結果の概要①

<評価方法>

取組みの進み具合に応じて5点～1点で評価を行い、テーマ毎、設問毎に平均点を算出。また、法令上の問題に繋がる恐れのある対応がされていないかの確認も行った。

<結果の概要>

- テーマ毎の平均点は右表のとおり。概ね必要な取組みが実施されていることが確認できた。
- ただし、従業員数が100人未満の会社においては、いくつかの項目について社内体制や方針が整備されていない。特に、「公正かつ適正な取引と腐敗防止の徹底」、「災害等不測の事態への対応」の平均点が低い（表の赤字部分）。

テーマ毎の平均点

テーマ	設問数	平均点		
		全体 (547社)	従業員数 100人以上 (137社)	従業員数 100人未満 (410社)
法令等の遵守と良識ある行動	4	3.93	4.56	3.72
公正かつ適正な取引と腐敗防止の徹底	11	3.32	4.03	3.09
反社会的勢力との関係遮断	3	3.77	4.19	3.63
人権・労働 全般	6	3.86	4.40	3.67
差別や不当な取扱いの禁止	3	4.74	4.55	3.97
児童労働・強制労働の禁止	3	3.33	3.57	3.25
健康と安全に配慮した働きやすい労働環境の提供	9	4.49	4.69	4.42
労働時間の適正管理	3	4.68	4.64	4.69
適切な賃金の支払	3	4.74	4.83	4.71
従業員の団結権及び団体交渉権の尊重	2	3.63	4.05	3.49
環境への配慮	8	3.50	4.08	3.27
品質の確保	4	3.96	4.58	3.75
情報セキュリティの確保	2	4.15	4.61	4.00
災害等不測の事態への対応	1	3.22	4.03	2.95
サプライチェーン 地域社会	3	4.38	4.45	4.35
外国人従業員	9	3.96	3.68	4.11

2. 結果の概要②

<得点が低いテーマと設問項目>

(1) 公正かつ適正な取引と腐敗の防止

- 第三者（協力会社従業員等）が貴社の不正行為を通報・相談できる窓口を設置していますか？
[①全体 2.86点、②従業員数100人以上 3.66点、③同100人未満 2.59点]

(2) 児童労働・強制労働の禁止

- 強制労働を禁止する方針などがあり、自社従業員および協力会社に周知していますか？
[①2.97点、②3.39点、③2.83点]

(3) 環境への配慮

- 環境保全・環境負荷低減や社会に対する環境配慮のための体制を構築・維持するよう努めていますか？
（外部認証を取得、または社内規程を策定しているか）
[①2.78点、②3.62点、③2.50点]

(4) 災害等不測の事態への対応

- 平時から災害など不測の事態に備え、BCP（事業継続計画）の体制構築・維持に取り組むことができますか？
[①3.22点、②4.03点、③2.95点]

3. 皆さまへのお願い

- 本アンケートは今後も継続的に行います。実施することが困難な項目もあるかもしれませんが、対応可能な項目から少しずつ取組みを進めていただきますようお願いいたします。

(※) なお、内部通報制度に関しては、2022年6月1日に施行された「公益通報者保護法の一部を改正する法律」により、従業員数300名を超える事業者は「事業者内部における公益通報に適切に対応するために必要な体制整備」が義務付けられていることにも留意願います。

- 今後、「ガイドライン」に定めている各項目を具体的に解説したガイドブックを作成する予定です。

4. お問い合わせ

調査結果に関するお問い合わせは、以下のメールアドレス宛にご連絡ください。
担当者からメールにて回答いたします。

cpd-ds-kajimagscgl@kajima.com